

各位

会社名 株式会社ソフトフロントホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 二通 宏久  
(コード番号 2321 東証グロス)  
問合せ先 取締役 財務・管理統括担当 程崎 絵李加  
電話 03-6550-9270

## 当社取締役時慧が「NVIDIA GTC 2026」に出席

現地時間 3月16日、NVIDIA Corporation（本社：米国）が主催する「NVIDIA GTC 2026（GPU Technology Conference）」が、アメリカ・カリフォルニア州サンノゼにて開幕しました。

グローバル AI 産業の重要なバロメーターとして注目を集める本イベントは、世界を代表するテクノロジー企業、産業チェーンにおける中核パートナー、ならびに最先端イノベーションの担い手が一堂に会する世界有数の国際カンファレンスであり、世界の AI 技術の最新トレンドを俯瞰する場であるとともに、異業種間の交流促進およびパートナーシップ構築の基盤となっています。

当社の時慧取締役はこのたび招待により本イベントに出席いたしました。会期中、業界関係者との交流に加え、NVIDIA、Amazon 等の主要なパートナーチームを訪問し、AI 産業の将来展望およびイノベーションの可能性について幅広く意見交換を行いました。

本イベントでは、NVIDIA の創業者兼 CEO であるジェンソン・フアン氏が、多くの重要な知見および最先端の成果を発表し、グローバル AI 産業の将来像を明らかにしました。

同氏は今回、初めて「AI 工場」および「トークンのプロダクト化」という重要なコンセプトを提唱するとともに、2025～2027 年にかけて、世界の AI チップ需要が 1 兆ドル（現在の為替レートで約 158 兆円）を突破するとの大胆な予想を示し、AI 産業が持つ高い成長ポテンシャルを明らかにしました。

同氏はまた、伝統的なソフトウェアは急速に AaaS（Agent as a Service）へと置き換えられつつあると指摘し、会場では自動運転やロボティクス分野における AI の最新技術の進展状況が紹介されました。これらは、AI 技術が「デジタル世界」から「物理世界」へと本格的に拡張・融合しつつあることを象徴するものと言えるでしょう。

さらに NVIDIA は、宇宙データセンター向けに設計された「Vera Rubin Space-1」を発表し、AI データセンターを地球軌道に配置する計画を明らかにしました。これにより、地球という制約を超えた新たな AI コンピューティング基盤の活用シナリオが切り拓かれることが期待されています。

また、同氏は、「エネルギーこそが AI インフラにおける根本前提である」と強調し、エネルギーが AI システムの知的アウトプットを左右する最も決定的な制約であり、今後の AI 産業発展における中核的な検討軸であることを示しました。

イベント期間中、当社の時慧取締役は、業界最先端の知見を幅広く吸収するとともに、世界各国のテクノロジー分野の関係者と多角的な交流を行いました。

時取締役は、「現在、人工知能および大規模言語モデルの応用技術、並びにデジタルインフラは、まさに高速で進化する重要な局面にある。クリーンエネルギー、計算資源（コンピューティング）インフラの整備、そして産業エコシステムの協同的発展は、すでに世界の AI 産業における重要な潮流となっている」と述べています。

こうした認識は、業界全体に共通するものであり、当社が新規事業分野において取り組む方向性と成長戦略に対する確信を、さらに強固なものとなりました。

今後、当社はグローバル AI 産業の動向を的確に捉えつつ、グリーン・コンピューティングおよび産業エコシステムの構築に注力し、世界の産業チェーンパートナーとの連携を一層深化させてまいります。また、技術力とエコシステムの両輪を推進

力に、AI産業の新たな成長機会を捉え、デジタル経済の質の高い発展に向けて、当社ならではの価値創出に貢献してまいります。



以上